

病院としての「就労支援力」の向上

精神科病院の就労支援（就労支援は医療の延長線）

- ・ ナイトホスピタル、通院患者リハ、社会適応訓練事業
- ・ 医療機関と連携した精神障害者の就労支援モデル事業

病院や同一グループで就労支援に取り組む動き

- ・ 就労移行支援事業
- ・ ジョブコーチ派遣（訪問型）
- ・ IPS (Individual Placement and Support)

自ら雇用することで「雇用する側」の立場を理解

- ・ 一般就労への移行を進める上でのノウハウの開発
- ・ 雇用する側に役立つ実践的なアドバイス
- ・ 一般就労に向けた就労支援機関との連携もスムーズに

医療機関で切り出した業務の具体例

障害者雇用を積極的に進めている医療機関では、特定の業務だけでなく、院内にある多様な業務から障害のあるスタッフが従事できる業務を切り出している実態がある。

「事務系の業務」は、他の産業分野とも共通する業務が多く、郵便物の仕分け・配達、文書や物品の搬送、データ入力等の業務は、大手企業の本社などで精神障害や知的障害のあるスタッフが活躍している職域でもある。

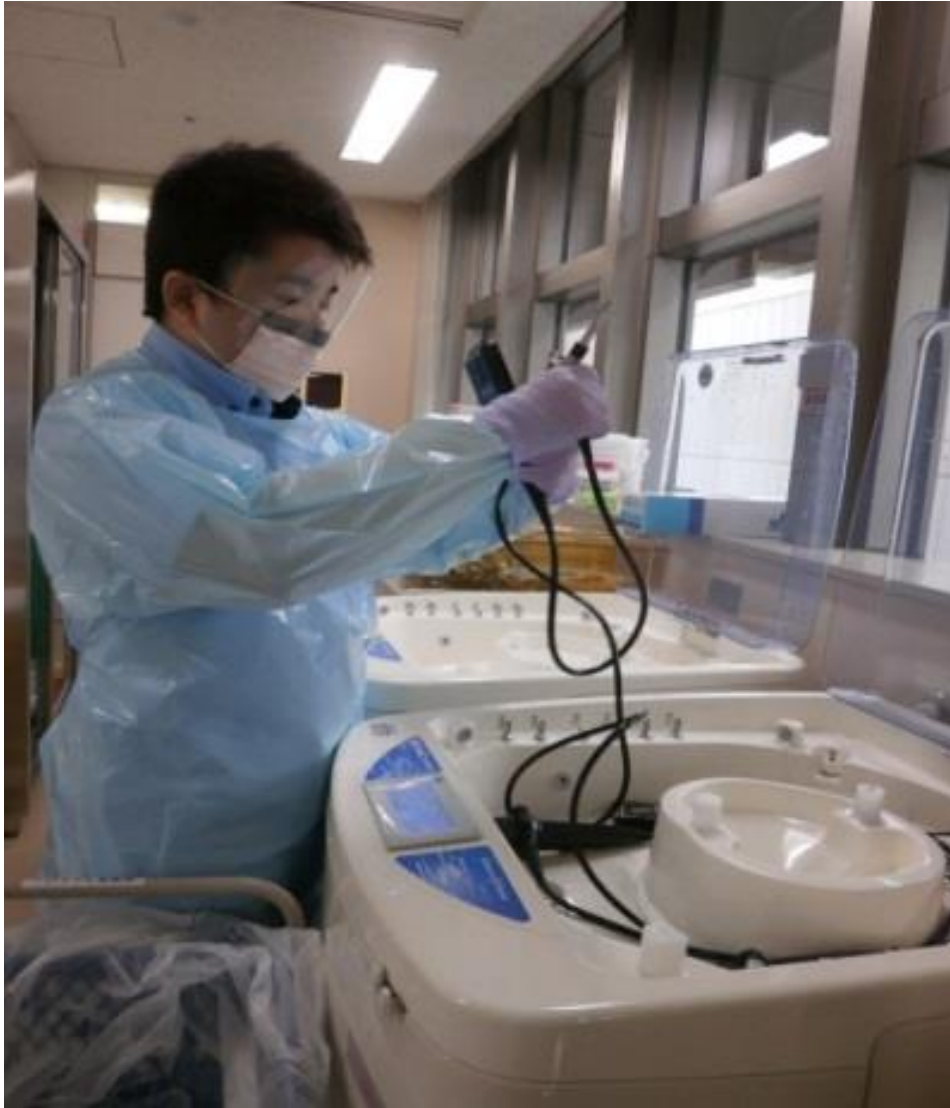
「医療系の業務」は、まさに医療機関ならではの業務であり、業務の種類も量も相当なものが院内に存在している。この分野での職域をどう開発するかが、医療機関での障害者雇用を進める上での「鍵」となる。

看護部門の仕事(病棟)

- 退院後のベッド清掃、ベッドメイク
- 布団や電気毛布の包布入れ、枕のカバー入れ
- 清拭タオル折り
- 点滴スタンド、酸素ボンベ台、ストレッチャー、車椅子、歩行器、ベビーカー等の清掃、松葉杖の清掃と包帯巻き
- 内視鏡の洗浄(機械洗浄の操作)
- 手術室の清掃
- ドアノブや床等の消毒、手すりや椅子の拭き掃除
- 病室洗面所の石鹼液の補充
- ペーパータオルの補充、使用済みタオルの回収
- ラウンジの清掃、給茶機等の管理
- 病棟等の飾りつけ(小児病棟・外来等)
- 病棟と他部門間の搬送(検体、フィルム、文書等)

ベッド清掃業務





内視鏡の洗浄業務



ベビーカーの清掃業務

看護部門の仕事（事前準備）

- 点滴固定用テープのカット（ロール状のテープをオーダーに応じた様々な形状にカット）
- 各種パックの切り離し（注射器、薬剤、清綿等が入ったパックをマシン目で切り離し）
- 処置セットの袋詰め
- 各種シートやガーゼ等のカットと折り畳み
- 汚物用ビニール袋の折り畳み
- 医療廃棄物処理容器（段ボール製）の作成



テープカット業務





パックの切り離し業務



手術用シーツのカット業務

薬剤部門の仕事

- 薬品への注意事項シール貼り
- 薬剤説明書の折りと封入
- 処方箋の整理
- 薬剤伝票の整理
- 薬剤用ろ紙の折り
- 薬剤カートの本棟への搬送
- 薬剤カートの清掃
- 診療材料の在庫管理、搬送
- 薬剤空箱のバーコード読み取り



薬品への注意事項シール貼り業務



薬剤カートの搬送業務

検査部門の仕事

- 検体採取容器へのバーコード貼り
- 計量カップへのシール貼り(採取量表示)
- 未使用アンプルのシールはがし
- 病理標本の整理
- 検査結果等のデータ入力
- 超音波洗浄機による試験管洗浄

人間ドック部門の仕事

- 受診勧奨のお知らせ送付
- 人間ドック受診者に送付するキットの封入と送付
- 問診票のデータ入力
- 健診結果の封入と発送

リハビリ部門の仕事

- 作業療法室のテーブルや椅子出し
- リハビリ用具の準備
- 作業用材料のコピー（塗り絵等）
- テーブル等の清掃・消毒
- イベント用具の分類・整理・準備の補助
- リハビリ浴槽の清掃

デイケア部門の仕事（ピアスタッフ等）

- デイケアプログラムの企画、進行
- メンバーの状況把握
- 相談対応

ピアサポーターの活動による効果

ピアサポートに関わったそれぞれの立場への効果が報告された。

ピアサポーターの活動による効果(自由記載のまとめ)

○入院精神障害者に対する効果

・経験に基づいた当事者独自の視点に立った支援が可能であることや、実際に地域で生活しているピアサポーターの姿から退院後の生活を具体的にイメージすることができること、また、それによって退院意欲の向上や具体的な行動につながるなどの点が挙げられた。

○地域移行後の精神障害者に対する効果

・当事者独自の視点からの助言や指導を行える点のほか、仲間としての安心感を得たり、地域生活のヒントを得たりすることが地域移行・定着につながる点が挙げられた。

○ピアサポーターに対する効果

・ピアサポート活動を通じて社会参加の機会を得たり、他者の役に立つことが自己肯定や自信を取り戻すことにつながるという効果のほか、(ピアサポーター自身の)健康を守るという観点からも、(他者に自己の経験を話すことで)自分を振り返り認めることができるなどの点が挙げられた。

○雇用者に対する効果

・ピアサポーターとの協働を通じて精神障害者への理解が深まったり、可能性や能力を発見する機会になる点や、精神障害者への支援にあたり、ピアサポーターを通じて当事者の率直な気持ちや受け止め方などの意見を聞いたり、入院患者との接点を拡大することにより、支援の質の向上につながる点などが挙げられた。

平成26年度精神障害保健福祉等サービス体制整備促進事業に関する調査研究「ピアサポートの活用状況に関する調査」

平成27年度社会保障審議会 第71回障害者部会資料

事務部門の仕事（メッセンジャー系）

- 郵便物の仕分け・配達
- 郵便物の発送
- 宅配物の受取りと配達
- 病棟・外来と事務部門の文書搬送
- 事務部門間の書類回付
- 日用雑貨、文具の搬送
- DPC用紙等の配付
- 帳票等の病棟等への配布



郵便物の仕分け業務



郵便物の発送業務

事務部門の仕事(事務系)

- 医療事務補助
- データ入力 ・テープ起こし
- アンケートの集計、自由記載欄の入力
- 会議資料のコピーとセット
- 書類の編纂
- バーコードスキャン
- 名刺作成
- 部署印の押印
- 封筒への文書の封入と発送
- 掲示物資料等の加工(ラミネート等)
- カルテ庫の文書整理、図書室の本の整理
- 掲示物、ポスター等の掲示
- パンフレットスタンドへのパンフレットの補充
- 院外での健康教室の資料準備、会場設営

事務部門の仕事（労務系等）

- 廃棄文書の回収、シュレッダー処理
- 廃棄物の分別、回収、ペットボトル蓋の回収
- 寝具、シーツ等の病棟への配達と使用済み品の回収
- リネン業務（洗濯物の回収、洗濯、乾燥、畳み、配送）
- 病棟からの食器下膳、食器洗浄、片づけ等
- 院内の清掃（窓、階段、エレベーター等）
- 当直室の清掃、シーツ交換
- 職員宿舎、職員ロッカー等の清掃
- 会議室の設営、清掃
- 訪問看護車両の洗浄
- 見舞客の入館受付
- 病棟へのお茶運び
- 閉鎖病棟入院患者の買い物代行
- 院内売店の業務（接客・配達等含む）
- 植栽の手入れ、敷地内外の清掃

「医療機関の障害者雇用ネットワーク」 ホームページを活用ください

medi-em.net

医療機関の障害者雇用ネットワーク

ホーム

～ Menu ～

- 「医療機関の障害者雇用ネットワーク」
- 障害者雇用を進める意義
- 「職員に歓迎される障害者雇用」の進め方
- 業務切り出しのポイント
- 先進事例に学ぶ
- 活用できる支援制度
- 障害者雇用の支援機関
- ちょっと元気の出る話
- お問い合わせ
- 医療機関による一般就労に向けた支援**

新着記事

- 2017.11.09 「精神科医療機関とハローワークの連携モデル事業」の拠点ハローワークと連携先医療機関一覧 (平成29年度)
- 2017.10.30 「地域連携就労支援バス」の提案 (意見照会)
- 2017.10.18 チーム医療への貢献で院長賞を受賞
- 2017.09.27 第三障害保健福祉圏域障害者就労支援ネットワーク研修会での講演
- 2017.09.18 「健康経営」を実現するための障害者雇用という視点
- 2017.09.09 大切な仕事を「雑務」と呼ばないで
- 2017.09.07 平成30年度障害者雇用施策関係概算要求のポイント
- 2017.08.25 認定看護管理者教育課程サードレベルの研修

最近の投稿

「精神科医療機関とハローワーク」の連携モデル事業

医療機関による一般就労
に向けた支援

医療機関による一般就労に向けた支援

医療機関に通院・入院されている患者の中には、その抱える疾病や障害ゆえに、一般の企業等での就労（一般就労）に困難を伴う方がいます。医療機関は治療を本業とするものであり、就労支援は医療機関の本来の機能ではありませんが、地域にハローワーク以外の就労支援機関がほとんどない時代には、特に精神科の領域では医療機関が治療の一環として就労支援に取り組んできた歴史があります。その後、労働施策や福祉施策が進展する中で、障害者の就労を支援する機関が数多く地域に整備されてきました。このため、医療機関としては地域の就労支援機関と連携することによって、一般就労を希望する患者の思いにこたえていくことも可能となってきました。このように地域の中で役割分担が進んできたわけですが、一方で、医療機関が自ら又は同一法人で労働施策や福祉施策を活用し、治療スタッフと就労支援スタッフが密接に連携して就労支援に取り組んでいるケースも僅かですが存在します。継続的に治療が伴う精神障害者の就労支援では、医療スタッフと就労支援スタッフの連携をどう確保するかが課題となっており、それにこたえる試みの一つとして、地域での面的な就労支援体制の整備を前提としたうえで、こうした医療機関による一般就労の支援の取り組みが今後どう展開していくか、注意深く見守っていく必要があるでしょう。

ここでは、精神科の医療機関を中心に医療機関が就労支援に取り組むことの意義について整理するとともに、医療機関が自ら又は同一法人で労働施策や福祉施策を活用して就労支援に取り組む際に活用できる制度や課題、先行事例等について紹介します。

1. 医療機関が就労支援に取り組む意義
2. 医療保険での対応
3. 福祉施策の活用
4. 労働施策の活用
5. ハローワークと医療機関の連携
6. 精神科医療機関の就労支援に係る事例

ご清聴ありがとうございました

「医療機関の障害者雇用ネットワーク」で
情報共有し、質の高い就労支援を
目指しましょう

ネットワークの参加登録は無料
個人の立場で参加可能

関心のある皆様のご参加をお待ちしています

<http://medi-em.mond.jp/>

「医療機関の障害者雇用ネットワーク」の「(3)参加登録」から登録